



通信

HP 学校だより
R8.3.23
NO.44(最終)
文責 伊藤美佳



第117回卒業式を終えて

3月19日(木)に第117回豊坂小学校卒業証書授与式を挙行了しました。幸田町長様、教育委員様、町議会議員様をはじめ、多くのご来賓の皆様にお越しいただき、卒業生、そして在校生の姿をご覧いただきました。

卒業生は、登校から下校まで「あこがれ」の姿を見せてくれました。それは何かというと、「**あ**いさつ(挨拶)」「**こ**うどう(行動)」「**が**っち(合致)」「**れ**いき(励起)」です。「あいさつ」を大切にしてきた卒業生は、その日も笑顔で誰に対しても「あいさつ(挨拶)」をしていました。卒業式中はもちろん、学校にいる間の「こうどう(行動)」は、きびきびとしており、好感をもたれた方も多かったと思います。式の間は、卒業生全員の気持ちが「がっち(合致)」しており、特に、卒業の歌は気持ちが一つになっていることに感動しました。最後の「れいき(励起)」の意味は「エネルギーを得て、力を増す(ような)こと」です。それは、在校生との気持ちも「がっち(合致)」して「れいき(励起)」を感じた「校歌」です。みんなの気持ちが一つになり、これ以上ないパワーとなって体育館中に響いた歌声を忘れません。そんな幸せな時間となりました。

在校生は、4、5年生が代表で参加しました。長時間、緊張の中で過ごすことがあまりない今の学校生活において、貴重な経験だったと思います。子どもたちの姿から、「これからは、自分たちが豊坂小学校の代表としてがんばるんだ」という意志が見えました。来年度は、現5年生を中心に、「あこがれ」いっぱい豊坂小学校を創り上げてくれると確信しました。

最後に、卒業式後に花道をつくっていた1～3年生が、卒業生が行ってしまっても、歌いながら送っていた姿が印象的でした。

「温かい卒業式」＝「豊坂小学校の卒業式」です。

最後に伝えたいこと

令和7年度の教育活動が明日で修了します。この1年、子どもたちは大きく成長しました。その成長が、目に見えるかたち(成績のように数字や賞をもらうなど)で表れる子もいれば、目に見えないかたち(あいさつや思いやりなど)で表れる子もいます。その子、その子の良さを理解し、ちゃんと評価し、価値づけることで、その良さがよりクローズアップされ、自信となり、花を咲かせることができます。

どの子も、確実に成長しているのですが、その成長を大人はちゃんと見取れているでしょうか。金子みすずさんの詩に「みんなちがって みんないい」という一節があります。人はみんな違います。当たり前のことです。しかし、ともすると自分と違う価値観や意見の人を変えようとしていませんか。意見を戦わせたり話し合ったりすることは大切です。そこから、折り合いをつけることで、お互いを尊重できるからです。子どもたちも同じです。子どもとはいえ、一人の人です。その人の良さを理解して、自分らしく生きることをどの子も望んでいることを、大人が忘れてはいけません。情報に翻弄され、目に見えるかたちに囚われがちになってしまう今の世の中で、子どもたちがのびのびと自分らしさを発揮できるような、そんな生き方をしてほしいと願っています。